



神戸国際大学
キリスト教センター通信
2022年12月13日 第75号

「メサイア」

理事長 バジル 八代 智

先週水曜日、本学と兄弟校にあたる東京池袋にある立教大学の「メサイア」に初めて行ってきました。メサイアというのは「メシア：救い主」の英語読みのタイトルですが、G.F.ヘンデル(1684~1759)が1741年に作曲したイエス・キリストの生涯を描いたオラトリオ(宗教音楽)です。

このクリスマスシーズンにオーケストラやブラスバンド、聖歌隊にグリークラブといった立教大学の学生たちが一堂に会してメサイアを合唱することが、立教大学の恒例行事といえますか立教最大の伝統になっており、今回で61回目を数えます。

最初の第1回メサイア演奏会が開催されたのが1962年12月22日ということで、本学創立者の八代斌助主教が理事長の時でした。創立者も聞いたであろう立教のメサイアを、初めて聞くことができ感慨深いものがありました。

ヘンデルのメサイアと聞いても、今ひとつピンとこない学生も多いかもしれませんが、とくに「ハレルヤコーラス」と呼ばれる第2部第3小節は非常に有名で、クリスチャンでなくてもほとんどの人が知っていると思います。

そしてもっと有名なのは日本全国ほとんどの小中学校で行われる運動会等の表彰式で、優勝旗や優勝カップ授与の時に必ずといってよいほど流される曲がありますが、あの曲も「マカベアのユダ」という戦勝曲の第3部第58小節「見よ、勇者は帰る」という最も有名なヘンデルの名曲で、甲子園や日本の国技である大相撲でさえも表彰式で用いています。

さて、先週土曜日、本学チャペルで3年ぶりのチャリティー・コンサートが行われました。大阪教育大学音楽課程の卒業生たちによって結成された「トワイライトベルズ」という混声合唱団ですが、藤倉キリスト教センター長が初めてこの合唱団を招聘し、ブルーリ潰瘍で苦しむ子どもたちへのチャリティー・コンサートを始めてから今年で20年、何と記念すべき30回目のコンサートとなりました。この時もヘンデルのメサイアの中から数曲が歌われ、最後のハレルヤコーラスでは立教に負けないほどの力強い歌声を聞かせてくださいました。

ヘンデルは現在のドイツで生まれ、イタリアで有名になり、そしてイギリスに渡って1727年に帰化してから、イギリス人に最も愛されたイギリス人作曲家となったわけですが、現在はエリザベス2世女王陛下の国葬が執り行われたロンドンのウエストミンスター大寺院に静かに眠っています。

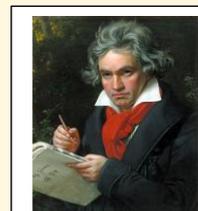
私たちもヘンデルのメサイアのように、大いなる喜びをもって今年のクリスマスを迎えましょう！



ひとくちメモ 「巨匠による聖歌」

ヘンデルのメサイアと並んで年末の恒例といえばヴェートーベンの交響曲第9番第4楽章「喜びの歌」(歓喜の歌)です。この有名な交響曲が12月に集中して演奏されるのは日本だけで、その理由には諸説あるようですが「第九」を聞かないと年を越せないという人も少なくないようです。

その「第九・喜びの歌」の曲は古今聖歌集318番「あめもみ使いも」、同じく342番「あめにはみ使い」でも使われています。古い曲から新しい曲まで聖歌・讃美歌集には580曲が収録され日々の礼拝で歌われていますが、クラシック曲や外国の民謡など、ほかの曲のメロディーを使ったものもあるので、みなさんも知っている曲を探してみると楽しいかも....



ウクライナのための祈り

正義と平和の神よ、
わたしたちは今日、ウクライナの人々のために祈ります。
またわたしたちは平和のために、そして武器が置かれますよう祈ります。
明日を恐れるすべての人々に、
あなたの慰めの霊が寄り添ってくださいますように。
平和や戦争を支配する力を持つ人々が、知恵と見識と思いやりによって、
み旨に適う決断へと導かれますように。
そして何よりも、危険にさらされ、恐怖の中にいるあなたの大切な
子どもたちを、あなたが抱き守ってくださいますように。
平和の君、主イエス・キリストによってお願いいたします。
アーメン。

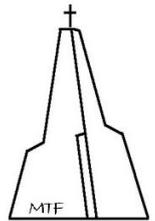
ジャスティン・ウェルビー大主教
スティーブン・コットレル大主教



A Prayer for Ukraine

God of peace and justice,
we pray for the people of Ukraine today.
We pray for peace and the laying down of weapons.
We pray for all those who fear for tomorrow,
that your Spirit of comfort would draw near to them.
We pray for those with power over war or peace,
for wisdom, discernment and compassion to guide their decisions.
Above all, we pray for all your precious children, at risk and in fear,
that you would hold and protect them.
We pray in the name of Jesus, the Prince of Peace.
Amen.

Archbishop Justin Welby
Archbishop Stephen Cottrell



ウクライナのための祈り (カード) 日本聖公会東京教区のページへ

禁複製転載 (C) St.Michael 's KIU_MTF

神戸国際大学キリスト教センター